和鋼博物館 《島根県安来市》
Wako Museum

日本古来の製鉄法「たたら製鉄」の総合博物館

Comprehensive museum of TATARA iron making, an ancient Japanese iron-manufacturing method

出雲風土記の物を象徴（八重垣、雲、勾玉）した和鋼博物館

ご利用案内

●住所
[illegible]

●電話
0854-23-2000

●開館日時
9時～17時
（最終入館は16時30分まで）

●休館日
毎週水曜日
（祝日の場合は翌日）
（12月28日～1月3日まで）

●入館料
[一般]
（個人）310円
（20人以上団体一人につき）240円
（高校生・個人）210円
（20人以上団体一人につき）150円
（小・中学生　無料
身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい保健福祉手帳のお持ちの方とその同伴者1名は無料

鉄の道文化圏を形成する広域事業として開館

「和鋼」とは、たたら吹き製鉄法により生産された鋼（はがね）のことです。当館は鉄の道文化圏（安来市、雲南市、奥出雲町）の一環として、地域の特色を生かし魅力ある故郷づくりを目的に、1993年4月に開館しました。前身の和鋼記念館（1946年開館）から収蔵資料を移管し、広域的取り組みの中心的役割を果たしています。

屋外に展示されている鋼（けら）

Opened as part of the "Iron Road Cultural Zone" initiative

Wako refers to steel produced by the tatara method (using iron sand and charcoal). The museum opened in April 1993 as part of the Iron Road Cultural Zone (Yasugi, Unnan, Okuizumo), aiming to highlight regional heritage and foster local pride. It succeeded the Wako Memorial Museum (founded in 1946), inheriting its collection and serving as a hub for regional collaboration.

鉄穴流し風景図（砂鉄採取）

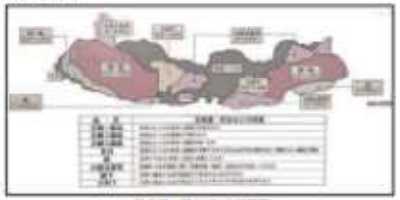
原寸大の製鉄炉と天秤鞴（てんびんふいご）

たたら製鉄は、日本古来の製鉄法で、砂鉄と木炭を炉に交互に装入し、鞴から風を送り込むことで木炭を燃焼させて砂鉄を還元し、鉄（鋼）を生産する技術です。その起源は古墳時代に遡り、江戸時代には中国山地一帯で盛んに行われました。1階の第一展示室には、原寸大の製鉄炉と実際に使用された天秤鞴が展示され、今にも操業が始まりそうな迫力です。周囲には、鉄の歴史や砂鉄採取、製鉄炉の地下構造、製鉄プロセスを示す模型や映像などが集約されています。

原寸大の製鉄炉と天秤鞴

たたら製鉄で生まれる鉄（鋼）の特徴

たたら製鉄で砂鉄から作られる鉄の塊は「鋼（けら）」と呼ばれ、江戸時代に確立された「近世たたら」では、約70時間にわたる操業で砂鉄約10tと木炭13tが使用されます。鋼塊を割る装置や方法も興味深く紹介されています。鋼から事大に分別された鉄は、表面の光沢、孔質等の状況により4種類の等級に分けられます。この鉄は不純物が少なく、鍛練や鍛接性に優れており、高品質な鉄素材として評価されています。



鉄の塊　鋼（けら）の断面図

和鉄の積出港として栄えた安来

鉄は各地（産物産地）へ運ばれ、比較的軟らかく加工しやすい鉄は、農具、漁具などの生業の道具や生活用具となり、とても硬く粘流れ性が高い鋼（ずく）は鍋や釜などの鋳物製品となり、焼き入れに適した鋼は包丁などの刃物へと加工され、人々の暮らしを支えました。

和鉄の運搬経路図

玉鋼（たまはがね）と日本刀

日本刀は、不純物が少なく品質の良い鋼（玉鋼）を原材料として、世界でも類を見ない独特な加工方法（鍛錬や構造、形状制御）でつくられます。刀身は焼入れにより刃はマルテンサイト組織となり（炭素量は0.6%）刃物として高い機能性と美しさ、そして深い精神性を兼ね備えています。

良質な鋼（玉鋼）で出来る日本刀

TOPICS

実際に鞴を踏んで風を出してみよう！鋼から生まれた玉鋼で出来た日本刀を持ってみよう！

たたら製鉄に関するさまざまな体験ができます。製鉄の成否を左右する重要な作業は、三昼夜交代で鞴を踏み続ける過酷な作業でした。実際に使われていた天秤鞴を用いて、その作業を体験することができます。
また、日本刀の材料である玉鋼と、著名な刀匠が作刀した日本刀を実際に持つことができる体験も提供されています。ぜひ、武士の気分を味わいながら、日本刀を手にした写真を撮影してください。

天秤鞴を踏んで風を出してみよう

本物の日本刀を持ってみよう

日本刀の材料 玉鋼